



コラボレーション事例集

本事例集では、これまでに生まれた多様なコラボレーションの中から主な事例をピックアップし、出会いのきっかけからコラボレーション実施までの流れや当事者の声をご紹介します。皆さまのコラボレーション実現のヒントとして、ご活用ください。

【目次】

1. 本事例集の作成にあたって
 2. 本事例集の見方
 3. 事例01：「パン」という身近な食材を通じた親子食育イベントの開催
 4. 事例02：生徒と社会をつなぐ探究学習。「子育て」をテーマにした出前授業の開催
 5. 事例03：被災時に子供たちへ遊びと癒しを届ける「災害時こども支援おもちゃ」寄贈
 6. 事例04：「家族のあり方の変化」にどう向き合う？ラジオ番組への相互ゲスト出演
 7. 事例05：大人も見たことのない巨大クッキー!? 親子で楽しめるイベント開催
- 参考：その他の主なコラボレーション事例

本事例集の作成にあたって

- こどもスマイルムーブメントにおける「コラボレーション」とは、参画企業・団体同士がお互いのリソース等を持ち寄り、子供を大切にする社会気運の広がりに向けた取組を共同で行うことを指しています。
- 本事例集は、さらなるコラボレーションの創出を目的として、「コラボレーション相手との出会い」や「コラボレーションの具体化に向けた動き方」などコラボレーション実現に向けて参考となる情報に焦点を当てながら活動レポートを要約したものです。
- 特に、コラボレーション実現の第一歩目であるとともに最も重要とされる「コラボレーション相手との出会い」に関して、これまでのコラボレーション成立実績をもとに以下のとおり整理することで、コラボレーションの創出につなげていきます。

こどもスマイルムーブメントにおけるコラボレーション相手との出会い方 4分類

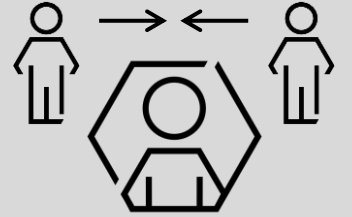
交流会 MEET UP!

お互いの熱量・空気感を
同じ空間で共有できる対面での出会い
参画企業・団体と対面で話せる交流会を定期的に開催しています。これまで成立したコラボレーションの多くは交流会をきっかけとしたものです。



事務局によるマッチング支援

事務局がハブとなり、
コラボレーション相手をご紹介
事務局にご相談をいただければ、その時点でコラボレーションの実現可能性が高いと思われる団体とおつなぎいたします。



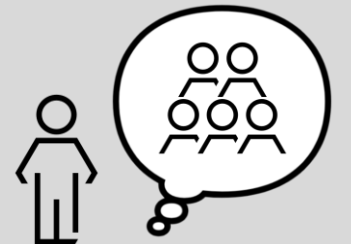
専用サイト「こどもスマイルムーブメントプラットフォーム(KSMP)」の “コラボレーション機能”活用

プラットフォームを活用して
出会いの可能性が最大化
KSMPのコラボレーション機能を活用し、参画企業・団体を対象に募集を実施したり、募集中のコラボレーション案件へ応募することも可能です。



既存の交流関係

コラボレーション相手は
既存の交流関係の中にも
既存のお知り合いで「こどもスマイルムーブメントに参画している」方が見付き、そこからコラボレーションに発展した実績もあります。



本事例集の見方

コラボレーション相手との出会い方を、以下の4分類で記載しています。コラボレーション相手を探す際の参考としてご活用ください。

交流会
MEET UP!

事務局による
マッチング支援

KSMPの
“コラボレシ
ョン機能”活用

既存の
交流関係

コラボレーションが具体化したポイントを記載しています。出会いからコラボレーションの実現まで、具体的に進めるためのヒントとしてご活用ください。

コラボレーションの実施内容を記載しています。コラボレーション内容の検討にご活用ください。

交流会	事務局 紹介	事例01 : 「パン」という身近な食材を通じた親子食育イベントの開催 アンデルセングループ × 学校法人久光学園 志のぶ幼稚園
KSMP 活用	既存 交流関係	

コラボレーション実施までの流れ

出会い
出会いは、交流会「MEET UP!」
2025年1月に開催された交流会で、子供たちへの食育を行う「場所」を探していたアンデルセングループと、「コンテンツ」を探していた志のぶ幼稚園が出会う

コラボレーションの具体化
お互いに意見を出し合う中で取組が具体化
交流会後のコミュニケーションにおいて、お互いに意見を出し合う中でアイデアが広がり、イベントを実施することに。複数回の打ち合わせを実施し、コラボレーション実現に向けて擦り合わせを実施。「親子で参加できるもの」という共通の観点を持ちながら準備を進めた。

コラボレーション実施
「パン」をテーマに親子イベントを開催
親子向けイベント「夏やすみ！親子で楽しむバラエティレッドとサンドイッチ」を実施。遊びと学びを融合させたプログラムを提供。

コラボレーション当事者の声

交流会での対話を経て、企業の専門性と教育現場の知見を掛け合わせた親子向け体験イベントが実現しました。対話を起点に、単発で終わらない協働へと進化させていきたいですね。
志のぶ幼稚園 岡氏

楽しみながら学ぶ食育の取組は、子供と保護者双方に新たな気づきをもたらしました。今後は継続的な連携へと発展させていきたいと思っています。
アンデルセングループ 柄澤氏

企業・団体情報
アンデルセングループ
食育や親子向け体験を通じた子供の学びを創出する企業であり、パンづくりなどを通して食への関心や感性を育む機会を提供している。
学校法人久光学園 志のぶ幼稚園
東京都目黒区にある幼児教育機関で、日常の保育・教育に加え、外部との連携による体験学習の機会創出に積極的に取り組む。

[本コラボレーションの活動レポートはこちら](#)

コラボレーション当事者の目線で、コラボレーションを実施した結果や効果等を記載しています。

<コラボレーションの活動レポート>のページへ遷移します。より詳しく知りたい方はこちらもご参照ください。

交流会	事務局 紹介
KSMP 機能活用	既存 交流関係

事例01：「パン」という身近な食材を通じた親子食育イベントの開催

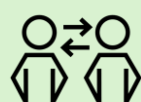
アンデルセングループ × 学校法人久光学園 志のぶ幼稚園

コラボレーション実施までの流れ



出会い

出合いは、交流会「MEET UP!」
2025年1月に開催された交流会で、子供たちへの食育を行う「場所」を探していたアンデルセングループと、「コンテンツ」を探していた志のぶ幼稚園が出会う。



コラボレーションの具体化

お互いに意見を出し合う中で取組が具体化
交流会後のコミュニケーションにおいて、お互いに意見を出し合う中でアイデアが広がり、イベントを実施することに。複数回の打ち合わせを実施し、コラボレーション実現に向けて擦り合わせを実施。「親子で参加できるもの」という共通の観点を持ちながら準備を進めた。



コラボレーション実施

「パン」をテーマに親子イベントを開催
親子向けイベント「夏やすみ！親子で楽しむバラエティブレッドとサンドイッチ」を実施。遊びと学びを融合させたプログラムを提供。

コラボレーション当事者の声

楽しみながら学ぶ食育の取組は、子供と保護者双方に新たな気づきをもたらしました。今後は継続的な連携へと発展させていきたいと思っています。



アンデルセングループ
柄澤氏



志のぶ幼稚園
岡氏

交流会での対話を経て、企業の専門性と教育現場の知見を掛け合わせた親子向け体験イベントが実現しました。対話を起点に、単発で終わらない協働へと進化させていきたいですね。

企業・団体情報

- アンデルセングループ**
食育や親子向け体験を通じた子供の学びを創出する企業であり、パンづくりなどを通じて食への関心や感性を育む機会を提供している。
- 学校法人久光学園 志のぶ幼稚園**
東京都目黒区にある幼児教育機関で、日常の保育・教育に加え、外部との連携による体験学習の機会創出に積極的に取り組む。

交流会	事務局 紹介
KSMP 機能活用	既存 交流関係

事例02：生徒と社会をつなぐ探究学習。「子育て」をテーマにした出前授業の開催

一般社団法人チーム主夫ラボ × 株式会社ぎゅぎゅっとハッピー × 東京都立昭和高等学校

コラボレーション実施までの流れ



出会い

出会は、交流会「MEET UP!」
2025年1月に開催された交流会で、主夫ラボとぎゅぎゅっとハッピーが初めてのコミュニケーションを実施。



コラボレーションの具体化

継続的なコミュニケーションにより取組が具体化
主夫ラボとぎゅぎゅっとハッピーはその後も継続的にコミュニケーションを取り、双方の活動に理解を深め、「一緒にやれること」を具体的にディスカッション。
以前から昭和高校で出前授業を実施していた主夫ラボが、昭和高校にぎゅぎゅっとハッピーを紹介。出前授業において、ぎゅぎゅっとハッピーが提供可能な「子育て」という新たなテーマに取り組むために、3者で打ち合わせを継続的に実施。



コラボレーション実施

「子育て」をテーマにした出前授業の開催
必修科目“総合的な探究の時間”の中で、高校1年生に向けて「子育て」をテーマに出前授業を開催。参加した生徒たちは、家事・育児や地域が抱える課題を探究。

コラボレーション当事者の声



チーム主夫ラボ
高木氏

様々な分野の方とのネットワークを広げることが、結果的にコラボレーション実現の最初の一步になるのだと実感しています。とにかく動いてみることを、新しい場所に行ってみることをお勧めします。



ぎゅぎゅっとハッピー
三原氏

交流会に参加していなければ今回のコラボレーションはきっと実現していません。「子供のために」という同じ思いのもと、多様なアプローチで教育に関われることを学ばせていただきました。



昭和高校
石田先生

出前授業は、生徒たちが問いを立て、考える力を伸ばす素晴らしい機会になっています。社会には様々な仕事や生き方があるのだと身をもって教えていただいています。

企業・団体情報

- 一般社団法人チーム主夫ラボ**
対話型カードゲームと講座・授業・研修を通じて、男性の家事・育児参画も自然なものとし、家庭の中にある思いやりや葛藤、ワークライフバランスを『見える化』し、対話から気づきを生み、その上で、地域を巻き込んだ“チーム型ケア”の文化を広げる活動を行う。
- 株式会社 ぎゅぎゅっとハッピー**
「保育・子育て界にハッピーの循環を創り出す」をミッションに、各種研修やイベントを通して「保育者」「子供」「親子」に寄り添い、保育や子育てに関する課題解決に取り組んでいる。
- 東京都立昭和高等学校**
東京都昭島市にある都立高等学校。必修科目化の前から探究学習に力を入れ、その一環として外部の企業や団体による出前授業を実施してきた。

交流会	事務局 紹介
KSMP 機能活用	既存 交流関係


事例03：被災時に子供たちへ遊びと癒しを届ける「災害時こども支援おもちゃ」寄贈 株式会社バンダイ × 利島村

コラボレーション実施までの流れ



出会い

**事務局の後押しで、
KSMPコラボレーション機能を介して出会う**
バンダイからコラボレーションの相談を受けた事務局が、KSMPのコラボレーション募集機能を案内。その後、バンダイがKSMP上で募集を実施し、利島村から反応があったことをきっかけに、両者のコミュニケーションが始まる。



**コラボレーションの
具体化**

丁寧なヒアリングを重ね、取組を具体化
利島村の過去の災害事例や備蓄に関する希望などを丁寧にヒアリングし、継続的にコミュニケーションを実施。地域の実情に寄り添いながら、子供への支援を実現するために対話を重ね、取組を具体化。



コラボレーション実施

「災害時こども支援おもちゃ」寄贈
避難所のほか、児童館や学校の体育館など複数の場所に分散して保管できるよう手配・寄贈。

コラボレーション当事者の声

「子供たちの笑顔を守りたい」という共通の思いさえあれば、業種や規模を問わず、どのような企業・団体にもコラボレーションの可能性があると感じています。企業と自治体がつながる機会は少ないため、こどもスマイルムーブメントのような多くの企業・団体が集うプラットフォームの活用をおすすめします。



株式会社バンダイ
安田氏



利島村 担当者

こどもスマイルムーブメントを通じてバンダイ様の企画をご紹介いただき、本趣旨に賛同の上、実施に至りました。
自治体として企業とのコラボレーションは困難だと考えていた中で、実現できたことが新しい発見でした。

企業・団体情報

株式会社バンダイ
「夢・クリエイション～楽しいときを創る企業～」をスローガンに、IPの魅力を生かし、ガシャポン・カードゲーム・玩具・菓子・衣料など多彩な事業を展開するエンターテインメント企業。

利島村
東京から南に約140km、大島の南方約25kmに浮かぶ東京都の離島。全島の約80%が椿(ヤブツバキ)に覆われ、日本トップレベルの椿油生産量を誇る。ヘリ、大型客船、高速ジェット船等の様々な交通手段があり、周囲8kmの島に300人ほどが暮らす。

交流会	事務局 紹介
KSMP 機能活用	既存 交流関係

事例04：「家族のあり方の変化」にどう向き合う？ラジオ番組への相互ゲスト出演

株式会社Oh My Family × 一般社団法人りむすび

コラボレーション実施までの流れ



出会い

出合いは、交流会「MEET UP!」
2025年12月に開催された交流会で出会い、企業姿勢や事業内容について情報交換を行う。



コラボレーションの具体化

両者の「つくり込みすぎないバランス感覚」により、スムーズに取組が具体化
交流会後すぐに、Oh My Familyからポッドキャスト番組「オーファミラジオ」へのゲスト出演をりむすびにオファー。これを受けたりむすび側からは、Voicy（音声配信プラットフォーム）で展開している自社番組への出演を逆オファーし、相互にゲスト出演することが決定した。つくり込みすぎないバランス感覚をお互い大切にしていたことも、スムーズにコラボレーションが実現した要因のひとつ。



コラボレーション実施

ラジオ番組への相互ゲスト出演
互いの事業をインタビューしあい、起業の想いやルーツを深掘り。なぜこうした事業が社会に必要なのか、社会をどのように変えていきたいかなどを発信。

コラボレーション当事者の声

事業にかける思いさえ共感できれば、人はつながれますよね。社会課題の複雑化が深まっていく中で、多様なセクターが連携して解決に取り組む重要性はこれからさらに高まっていくでしょう。**支援者間の継続的なネットワーキングは今後とても大事になってくると思います。**



Oh My Family
加治木氏



りむすび
しばはし氏

私たちのようなサービス提供が中心の企業は、モノを起点にしたわかりやすく映えるようなコラボレーションができなかったりしますが、今回のように**インタビューを通じてお互いを知っていくようなカジュアルなコラボレーションであれば、気軽に取り組める企業・団体も多いのではないのでしょうか。**

企業・団体情報

株式会社Oh My Family

子育て中のママパパに向けた子育て専門家の相談・伴走支援サービス、大切な人への感謝の気持ちを贈るビデオレターサービス等を提供。

一般社団法人りむすび

子連れ離婚で悩まれる夫側・妻側それぞれに対して、離婚前の夫婦問題から離婚後の子育てまですべてをサポート。代表自身の子連れ離婚をした経験や多くの相談実績をもとに、それぞれの家庭に適したコンサルティングを行う。

交流会	事務局 紹介
KSMP 機能活用	既存 交流関係

事例05：大人も見たことのない巨大クッキー!? 親子で楽しめるイベント開催

株式会社おりおり × 合同会社Flowence

コラボレーション実施までの流れ



出会い

もともと交流のあった両者が、交流会「MEET UP!」で再開
 東京都の女性ベンチャー成長促進事業「APT Women」が最初の出会い。その後、こどもスマイルムーブメントの交流会で再会。



コラボレーションの具体化

率直に意見を言い合える関係性が築けており、短期間でコラボレーションが具体化
 Flowenceが開発中の「米粉クッキーキット」のモニター調査を、おりおり「OLITABI」の常連顧客を対象にイベントとして実施することで合意。発案から実施まで2週間という短期間だったが、シミュレーションを重ね、イベント運営を丁寧に設計。元々交流があったことも奏功し、率直に意見を言い合える関係が築けたこともコラボレーション成功のポイント。



コラボレーション実施

親子で楽しめる巨大クッキーづくりイベント開催
 おりおり「OLITABI」の常連顧客を対象に、巨大クッキーの生地を捏ねるところから焼き上がりまで親子で体験できるイベントを開催。

コラボレーション当事者の声

こどもスマイルムーブメント大賞受賞をきっかけに、親和性の高い企業・団体との出会いをさらに増やしていけたらと考えていました。**こんな企業と関われたらいいな、という企業と実際に出会えて、コラボレーションの機会を得られるのは本当にありがたいことで、企業としてできることも広がっていています。**



おりおり
堀氏



Flowence
かわばた氏

今回のコラボレーションを通じて、モニター調査としての成果だけでなく、**おりおりさんから多くの知見をシェアしてもらい、そこから新しい展望も見えてきました。**今後もこどもスマイルムーブメントでの出会いを実りあるものにしていけたらと思います。

企業・団体情報

株式会社おりおり

家族向けのコミュニティ型旅行サービス「OLITABI（おりたび）」を運営。同じツアーに参加する複数の家族が、一つの大きな家族のように助け合いながら旅を楽しむことで、親の負担を軽減。孤独になりがちな子連れ旅に、安心とつながりを届けている。

合同会社Flowence

日本の技術を用いた米粉を基盤に、「グルテンフリー」「ハイプロテイン」「高食物繊維」の機能性を融合させた、究極のオールインワン健康菓子ミックスを開発中。AIを活用した教育プラットフォーム「HuGrow」の提供も行う。

参考：その他の主なコラボレーション事例

その他にも、規模や内容の異なるコラボレーションが成立しています。また、多くの参画企業・団体が、コラボレーションの成立に向けて取り組んでいます。

	団体名	団体の主な活動概要	きっかけ	コラボレーションの内容
事例1	一般社団法人 日本自動車連盟 東京支部	地域の子供たちに向けて、学びや成長のきっかけとなる機会づくり、主に「次世代育成」と「交通安全の啓発」という2つのテーマを軸に活動を展開。	交流会	<ul style="list-style-type: none"> 東京ガスが江東区豊洲に保有する「がすてなーに ガスの科学館」で開催されるイベント期間中に、日本自動車連盟東京支部のブース出展が決定
	東京ガスグループ がすてなーに ガスの科学館	インフラカンパニーとして、暮らしを支えるエネルギーの特長や、これからの暮らし・社会、SDGsや地球温暖化などの社会課題について、子供から大人まで、体験しながら考え、楽しみながら学ぶことができる「がすてなーに ガスの科学館」を運営。		
事例2	株式会社biima	「遊び」と「学び」を融合させた最新の教育サービスによって、世界中に「夢・学び・喜び・幸せ」を提供できるサービスを創り出すことを目標に、子供向けスポーツスクールの運営を始め、保育園の運営、スポーツ玩具の開発などを手掛ける。	交流会	<ul style="list-style-type: none"> 住宅展示場にて、「子育て中に住宅展示場を抱っこで見学相談をした経験者」の体験談をもとに、手軽に体験できる30分のレッスンプログラムを実施
	一般社団法人 日本ベビーダンス協会	育児中のプロダンサーと小児科医の知見をもとに考案されたベビーダンスを、産後の保護者の心身のセルフケアや、0歳児からの豊かな感性（リズム感・身体感覚）を育む独自のメソッドとして、全国各地の子育て支援の現場に広めている。		
事例3	特定非営利活動法人 ウイズアイ	清瀬市を拠点に活動する子育て支援団体。子供を見守り支え合う街づくりを目指し、「ひろば事業」「保育事業」「子育て講座」等の事業を展開している。	交流会	<ul style="list-style-type: none"> 清瀬市役所にてウイズアイ主催の「きよせ プレパパ・ママ講座」にファザリング・ジャパンの講師が登壇。主にパートナーが妊娠中の方に向けて、「出産に備えて家庭内でしておくこと」をテーマに講演を実施。
	特定非営利活動法人 ファザリング・ジャパン	「Fathering = 父親であることを楽しもう」を社会に広め、「笑っている父親」を増やすことで、働き方改革や次世代育成につなげ、将来の日本社会に変革をもたらすことをミッションとするソーシャル・ビジネス・プロジェクト。		